

公益財団法人橘秋子記念財団
令和4年度事業報告書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

1 バレエ芸術の表彰

(1) 橘秋子賞及び牧阿佐美賞

令和5年2月22日開催の選考委員会（委員：うらわまこと氏、川島京子氏、三谷恭三氏）において第41回橘秋子賞に地主薫氏、第1回牧阿佐美賞に青山季可氏、また、森下洋子氏について特別に賞を授与するものとして3名を選考し、3月13日開催の理事会において各賞の授賞者を決定した。

(2) 埼玉県舞踊協会主催による埼玉全国舞踊コンクールのそれぞれの1位入賞者に対し、橘秋子賞として盾（ブロンズ）を授与した。

2 奨学金の授与

令和4年7月2日（土）、3日（日）に開催した第8回ジャパンダンスコンペティションにおいて選考委員会による選考の結果、該当者はなかった。

3 バレエ公演の開催事業等

(1) 児童のためのバレエ芸術の指導とその発表

東京会場では月3回（週1回程度）、新潟会場では年13回（月1回程度）児童に対してバレエの指導を行なった。

また、その成果を発表する場として、令和4年8月8日（月）新宿文化センター大ホールにおいて「第47回日本ジュニアバレエ公演」を実施した。参加人数は73名（うち生徒69名、ゲスト4名）で、入場者数は647名（うち招待43名）であった。

(2) 青少年に対するバレエ芸術の後継者育成事業（牧阿佐美バレエ塾）

牧阿佐美バレエ塾（年齢15歳～22歳）では7名（うち塾生4名、延長者1名及びスカラシップ生2名（継続1名、新規1名））に対してバレエレッスン及び教養講座を週5回、年11ヶ月（8月夏休み）実施した。

小・中学生コース（小学4年生～高校1年生）では34名に対して月3回（8月夏休み）バレエレッスンを行った。

夏休み特別クラスは、8月23日（火）から25日（木）までの3日間で、小学生（4年生～6年生）17名、中学生22名及び高校生から22歳まで13名が受講した。

冬休み特別クラスは、12月27日（火）から30日（金）までの4日間で

、小学生（４年生～６年生）１９名、中学生１５名、高校生から２２歳まで１６名、大人２７名が受講した。

牧阿佐美バレエ塾発表会は令和５年３月２９日（水）新宿文化センター大ホールにおいて実施した。参加人数は３６名（うち塾生５名、修了生２名、スカラシップ生２名、ジュニアＣ（小学生）３名、ジュニアＢ（中学生）６名、ジュニアＡ（中学生～２２歳）１４名、賛助出演１名）で、入場者数は６２６名（うち招待５４名）であった。

（３）ジャパンダンスコンペディションの開催

次代を担う優れた才能を発掘し育成することを目的として、７月２日（土）、３日（日）の２日間、なかのZEROホールにおいて「第８回ジャパンダンスコンペディション」を開催し、１６３組の参加があった。また、同時に開催したレーヴルコンサートには２５名の参加があった。

４ 国内外での実績があるバレエ教師、振付師の招聘

バレエ教師等の招聘によるワークショップについて、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

５ 会報の発行

不定期発行の「バレエ・エスカイヤ」について、今年度は発行しなかった。

６ 橘秋子・牧阿佐美記念基金への寄付について継続して募集を行った。

７ その他の事業

上記の事業の円滑な実施のために必要な寄付金の募集活動を行った。